

連携機関ご紹介コーナー

こだま整形外科医院

院長 児玉 篤 Atsushi Kodama 昭和62年/久留米大学卒業
平成12年/開業

趣味/身体を動かすことが好きで、以前はマラソン・トレランをしていましたが膝を痛めてからは近場の山に登っています。

座右の銘・モットー/『人生は一度きり 悔いのないように』

毎日の診療で大切にされている事は何ですか

一期一会の気持ちで誠意を持って接することを目標にしています。

自院のやりがいは何ですか

デイケアを併設しているの、要介護になった方にも接していけること。

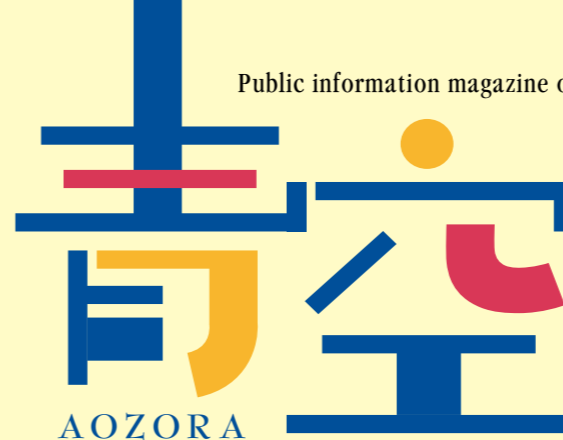
JA吉田総合病院へ望むこと

これからも地域の核として頑張ってください。



こだま整形外科医院

住 所 安芸高田市吉田町常友341-1
電 話 0826-43-2800
開 業 平成12年
標榜科 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・外科



やさしい心で
良質な医療を

特別号

vol.62

JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2019年(令和元年)6月発行
http://yoshida-gene-hospi.jp/

Facebookを開いています



ごあいさつ

新元号 令和

～輝かしき令和元年～

病院長 住元 一夫



JA 吉田総合病院の事業運営につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

病院長に就任し、早いもので17年を経過しようとしております。

その間、人工腎透析センターや健康管理センターを開設し、医療型療養病棟や地域包括ケア病棟に転換するなど、地域のニーズに応じた安定的な病院経営に努めてまいりました。

昨年度は、地元自治体のご支援により南館耐震補強工事を終え、さらに広島医療圏北部公立・公的病院の再編統合に伴う特例措置が厚労省の承認を受けるなど、病院将来構想元年となりました。

この輝かしき令和元年、基本理念である“平等な医療”“最良の医療”そして“信頼される医療”を実現し、地域の基幹病院として実直に役割を果たしてまいり、所存でございますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～5月1日の記念日～

事業局長 大下 誠人



5月1日より元号が変わり、“令和”となりました。

JA 吉田総合病院では、先般、76回目の開院記念式典等を執行了いたしました。当院は昭和18年4月30日、地域の皆様による用地等の寄付や勤労奉仕により落成を迎え、翌5月1日に開設されておりますので、今年は特に感慨深い記念日となりました。

ました。

本年度も引き続き、身の丈に合った堅実経営により、課題である病院将来構想を前進させるとともに、患者様や地域の皆様に信頼される質の高いサービスを提供し地域に貢献してまいりたいと思っております。

引き続き、JA 吉田総合病院の運営に際し、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

～新たな始まり～

看護部長 谷川 裕子



平素よりJA 吉田総合病院の運営に対して、ご支援とご協力を賜り深く感謝いたします。

「令和」という時代の始まりに、今の私が有るのは、あの時、あの人に出会い支えてくれたからだ振り返り身の引き締まる思いです。

また、吉田総合病院も新たな将来構想に向けて動き始めます。管理者として、将来を見据え、地域の皆

様が住み慣れた場所で安心して暮らすことを支える組織でありたいと考えています。

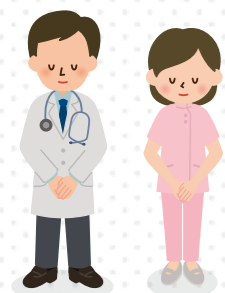
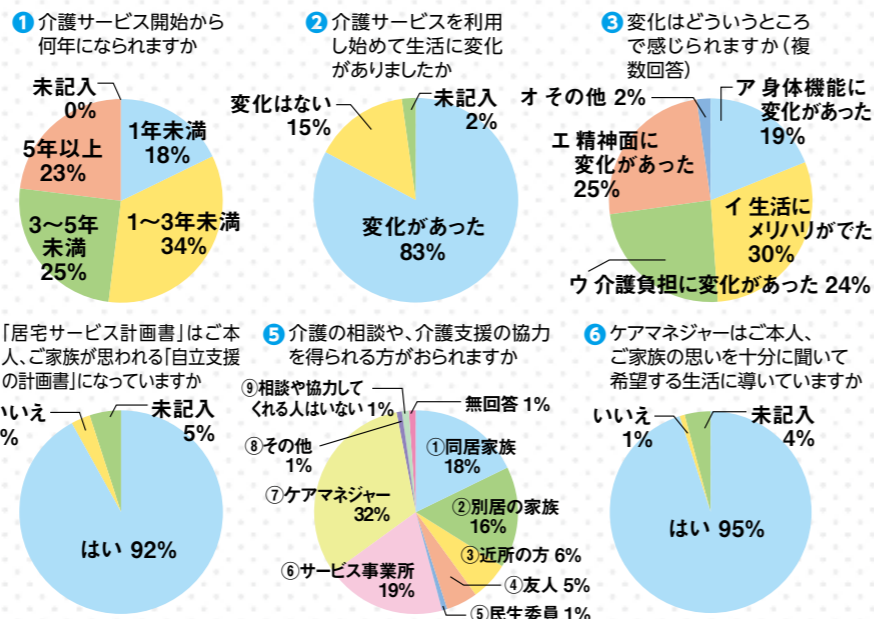
そのために、看護師ひとり一人が、専門職としての知識をもち、相手の立場を理解し、思いやりのある看護ができる人材を育成していくよう努力していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年度 居宅介護支援事業所 利用者満足度調査



本年度も満足度調査にご協力頂き、ありがとうございました。結果をまとめましたので報告させていただきます。

アンケート配布期間：平成30年8月～9月
[配布] 105件 [回収] 85件 (回収率：81%)



当事業所では、ご本人、ご家族の意向を伺い、またサービス事業所や専門家の意見も参考にしながら、ご希望される生活が実現できるよう相談、検討の機会を設けております。

介護保険法では、要介護状態等になられた方が「尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むこと・・・」とあるように、自立支援を目的とされています。今回のアンケートでは、「ご本人、ご家族が思われる自立支援の計画書になっていますか」、「ケアマネジャーはご本人、ご家族の思いを十分に聞いて希望される生活に導いていますか」の問いに多くの方が「はい」と回答を頂きました。

本年度は「相談や支援の協力を得られる方がおられるか」についても伺いました。結果から、介護に関わる関係者のみならず、ご家族やご近所の方等、協力支援を得られる方がおられるとの回答を頂きました。私達は、ご本人や、介護されるご家族が孤立されないよう、多くの方の支援を得ながら生活されることを望んでいます。今後も、ご本人が自己決定できるようにわかりやすく説明し、必要な情報提供を行い、ご本人、ご家族が安心し望む暮らしができるよう、事業内容や制度についてご理解頂けるよう、情報提供する技術や、思いを引き出す技術を研鑽して参ります。

NEW FACE

平成31年度からの
新任医師紹介!

内科

とり い ひろ あき
鳥井 宏彰

趣味▶ソフトテニス

本年度より当院内科で勤務をしております鳥井と申します。地域の皆様の少しでもお役に立てるように内科全般の疾患に対して全力で努めてまいります。よろしくお願いたします。

外科

から くち のぞ み
唐口 望実

趣味▶特になし

外科医師として赴任しました唐口望実と申します。東広島市出身で、広島県内で学生時代を過ごしました。安芸高田市にきたことがなかったのでもだ慣れませんが、一生懸命がんばりますので、ご指導の程お願いします。

耳鼻咽喉科 部長

よこ え ひろ ゆき
横江 裕幸

趣味▶ドライブ

耳鼻咽喉科の横江裕幸と申します。平成19年卒で耳鼻咽喉科全般に携わってまいりました。引き続き耳鼻科全般の診療を通じて地域の皆様のお役に立てたらと存じます。悪性などの重篤な疾患は適切な施設へご紹介いたします。

外科

もち づき てつ や
望月 哲矢

趣味▶ランニング

本年度より外科に赴任しました望月哲矢と申します。微力ながら地域の皆様に貢献できるよう日々邁進していきたくと考えております。よろしくお願いたします。

外科

ひら た よし と
平田 嘉人

趣味▶カラオケ

広島大学病院消化器移植外科から外科医として吉田にやってきました。当院では透析患者の診療を外科医が担っているなどの地域の特性がありますので、それらにしっかりと適応できるように精進していく所存です。

南館耐震補強工事完了について

昨年7月より着工しておりました当院南館の耐震工事ですが、近隣住民の皆様方のご理解とご協力により、本年2月末日に無事に完了いたしました。

これに先立ち昨年8月に安芸高田市と「災害時における避難所等施設利用に関する協定」を締結し、万一災害が発生した場合に避難所としてご利用頂くこととしております。

今後は安芸高田市唯一の総合病院として、医療・保健・福祉以外の分野においても地域住民の皆様方の生活に貢献して参りたいと考えております。



INFORMATION お知らせ

第5回 市民公開講座

『最期まで“笑顔”で生き抜く
～ともに暮らそう住み慣れたこのまちで～』

日時：令和元年11月16日(土) 13時15分～16時(予定)
場所：安芸高田市民文化センター(クリスタルアージュ)にて
(詳細は後日お知らせいたします。ご参加をお待ちしています。)

募集中!!

JA吉田総合病院は「院内ボランティア募集中」です。
ご連絡をお待ちしています。

お問合せ：JA吉田総合病院地域医療連携室
電話 0826-42-0669(森川)まで

【第21回病院祭・第30回のぞみ祭】を開催いたします。

日時：令和元年10月5日(土)
ご案内の詳細は後日お知らせいたします。お楽しみに!!

平成30年度 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業

第3回 多職種連携研修会

【日時】平成31年3月14日(木)18:30～20:00
【会場】JA吉田総合病院 南館4階 大会議室
【参加者】30名
【対象】安芸高田市内の医療・介護・福祉関連従事者

テーマ 安芸高田市の課題について考えてみよう～看取り・情報共有・ACP～



平成31年3月14日(木)18時30分から、大会議室にて多職種連携研修会を開催いたしました。「安芸高田市の課題について考えてみよう～看取り・情報共有・ACP～」をテーマにこれまでの地域の現状とこれからの変化する時代を踏まえ、ワールドカフェ方式で話し合いました。医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャーなど30名の参加者は「あなたが、あと半年の命だったら」「伝えたい、知りたい情報はなんだろう」「地域でわたしが出来る事とは」をテーマに、出た意見を模造紙に自由に書き込みながら、話し合いました。研修の最後に自分が一番印象に残った言葉を全員で共有します。“身辺

整理”や、“生きるも、死ぬもお金”、“最期のあり方”などの言葉が多く、誰もが関心の深いテーマであった事から会場は多くの意見が飛び交い有意義な研修になりました。また参加者全員、専門職でありながら地域住民としても考えさせられる内容でした。

これまで平成25年度から毎年、専門職が集い「安芸高田市地域包括ケアの構築」に向けて、研修を重ね「顔と顔が見える連携」を目標に開催して参りました。元号が変わり令和の時代も地域を想う熱い心を持ち、医療・介護連携の充実をめざし自己研鑽を重ねていきたいと思われました。



平成30年度 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業

平成30年度 第4回 ミニ市民公開講座

テーマ：老いに負けない身体づくり
～ロコモと栄養～

日時 平成31年2月21日(木)18:30～20:00
参加者 47名(30代から80代の市民の方)



平成最後のミニ市民公開講座はリハビリテーション科より「今からでも出来る筋力アップ」として室地敏雄科長の講演と実践で楽しみながら行いました。ロコモは身体活動の低下から運動不足となり、次に骨や関節の障害が起き、肥満や筋力が低下してしまう現象を言います。自分で出来る「7つのロコモチェック」を行い、一つでも当てはまればロコモの心配があります。毎日、無理せず行



える「片脚立ち」「スクワット」で予防と改善をしましょう、と教えて頂きました。片脚立ちは左右交互に1分間ずつ1日3回行います。スクワットは深呼吸のペースで5～10回を1日2～3回行いましょう。会場の参加者全員で行ってみました。これぐらいは簡単と思い、実際にやってみ

と意外と難しく、毎日続けようと思いました。

井上聖佳管理栄養士には「運動効果を高める食事の取り方」としてロコモに負けない身体づくりにはエネルギーの他に、筋肉や内臓をつくるたんぱく質が重要と言われました。年齢を重ねるとタンパク質の摂取量が減る傾向になるようです。たんぱく質を効果的に吸収するためのビタミンB6はマグロやカツオ、大豆に多く含まれているなどの講座の内容に参加者からは「楽しい講座だった」「日常に活かせる、すぐに始められることばかりで良かった」などのご意見を沢山いただきました。ミニ市民公開講座は様々なテーマで日常に活かされる内容を考えてこれからも開催いたします。是非ご参加頂きますようお願いいたします。

「ロコモ」とは…ロコモティブシンドロームの事を言います。運動器に障害が生じたことにより「立つ」「歩く」といった移動機能が低下した状態の事を言います。